

こつざい 交差点

昭和石材工業所 代表取締役社長

高瀬 順司



初めまして、今回から4回に分けて執筆させていただきました。株式会社昭和石材工業所代表取締役社長の高瀬順司と申します。

本連載では、私が経営を通じて得た気づきや弊社の取り組みを皆さまと共有し、少しでもお役に

立てる情報をお届けできればと思っております。第一回目となる本コラムでは、弊社の紹介をさせていただきます。

弊社は、昭和18年（1943年）に創業し、東京を中心に生産・物流拠点を中心として、砕石の製造・販売を主に行っております。明治23年（1890年）に生まれ、創業の高瀬順平は、石の仕事に携わってから33年後に昭和石材社からの石材販売権の譲渡という

弊社の成り立ち・創業者の想い

好機に恵まれ、弊社の創業を決意しました。創業と同時に砕石生産を目的とする古里鉱業所を開設し生産機能を整え、経営基盤の強化を図りました。戦後の厳しい環境の下での手探り状態の中、戦後復興や東京オリンピック等への砕石の供給を通じて国土の建設に貢献し発展してきました。

石一筋に生きてきた高瀬順平の想いは、自社の発展にとどまらず業界の組織作りにもひとかたならぬ情熱を注ぎました。1945年には戦後復興のため、業界の先導に立ち東京砕石業協同組合を創設、55年に日本砕石協会が設立され、初代会長

に就任しました。その後、各地域の砕石団体から支部が設立。64年には全国的な体制が確立され、砕石業界の地位向上に大きく貢献しました。

創業者の想いは、2代目栄太郎、3代目順昭、4代目である私に引き継がれ、自社・地域・取引先ひいては業界に貢献できるよう日々挑戦をしております。現在の砕石業界は人材不足・老朽化した設備の更新・物価の高騰等、厳しい状況に置かれておりますが、砕石業界の先駆者である弊社がどのような取り組みをしているか次回よりご共有させていただきます。